
春野ツバサ先生と神技先生へのインタビュー記事

ポケポケパン

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

春野ツバサ先生と神技先生へのインタビュー記事

【Nコード】

N9106J

【作者名】

ポケポケパン

【あらすじ】

今回は春野ツバサ先生と神技先生にインタビューを行いました。どうぞお楽しみください。

早くも新たななるポケモンファンフィクション作者の先生お二人にご協力を承り、記事を書くことができました。

お二方には再度お礼を申し上げます。ありがとうございました。

春野ツバサ先生は「ポケモン不思議のダンジョン」時の探検隊・闇の探検隊」を執筆なされ、神技先生は現在ポケモンファンフィクション作品の執筆を停止しておりますが「これってホントにポケモンすか!？」を執筆されています。

それでは早速インタビューの方へと参りたいと思います。

数を重ねることに質問を少しずつ増やしております。それではお楽しみください。

2

・先生はこの「小説家になろう」サイトをどうやって知りましたか？

春野ツバサ先生

「ポケダンのおもしろい小説がないかとGoogleで検索をかけて、とある方の小説がヒットしたのがきっかけです。」

神技先生

「面白そうなモンハン小説を探したら、出会いました!!」

・ポケモンのファンフィクションを書こうと思ったきっかけはなんでしたか？

春野ツバサ先生

「元々私はマンガを描いていまして、その中にポケモンのマンガもあつたんです。（今現在も継続中です）」

ですが、マンガでは表現しきれないキャラの心理部分をもっと詳しく表現したいと思ったんです。

それで文字にしてみようと思い立って、マンガを文章化したのがきっかけです。」

神技先生

「コメディ小説を読破しまくってたある日、ハーブ様の”メガニウムストーリー”に出会い、読破した後、今度はバクフーン様の”バクフーン達の冒険”に出会い、これまた読破しました。そして、俺もポケモン好きだし、書いてみよっつー事で書きました！！…何かすみません。」

・先生の年齢と出身地を教えてください。（任意で構いません）

春野ツバサ先生

「カントーはクチバシテイの出身です（現在も生息中です）

年齢は……全うに働く勤め人です（笑）」

神技先生

「もうすぐ17歳になります！！ 出身地は神奈川です！！」

・先生のポケモンのファンフィクションを執筆する以外の趣味を教えてください。

春野ツバサ先生

「ゲームしたり、マンガを描いたり読んだり、音楽を聴いたり、ですかね。」

今は小説を書くことに全神経を集中させているのでその殆どを休止しておりますが（笑）」

神技先生

「ゲーム、「なるろう」でノベサー（ノベルサーフィン）して、小説を読破しまくります！！」

・一番好きなポケモンの音楽・BGMを教えてください。

春野ツバサ先生

「んー、映画音楽で言えば風といっしょに。アニメならReady Go!。」

BGMなら探検隊の〜時の海を越えて〜ですね。」

神技先生

「好きな曲は…”OK!”ですかね。サビの”ゴールデンサン&シルバームーン”の響きが好きです!！」

・好きなポケモンのタイプとその理由をお願いいたします。タイプは複数・複合でも構いません。

春野ツバサ先生

「突出してこのタイプが好きというのは特にはないです。

ただ、どのバージョンも共通して水タイプと電気タイプは必ず手持ちに入っているので、あえて言うならこの2タイプかもしれないですね。」

神技先生

「好きなタイプは、やっぱり”ドラゴン”ですかね。カッコイイし!！」

・新しいポケモンシリーズの発表がなされましたね。それにつきましては予測はされていましたか？もしそうでしたら購入されますか？

春野ツバサ先生

「まだ日本の全国統一をしていないので当然続編は出るものだと思います(笑)」

ただ、去年の秋にHG・SSが出たばかりなので今年の発売はないだろうと思っていたので正直驚きでしたね(笑)

売りに出されたら…もちろん買います!！」

神技先生

「……はつきし言って、知りませんでした(汗)でも、買いたい

「と思います!!」

・新たななるタイプの組み合わせが出ると思いますか？

春野ツバサ先生

「うーん、どうなんだろう？ 難しい(汗)」

けど、最新作のうたい文句がこれまでにない革命的なポケモンになる、ということなんで、もしかしたら今までにない意外な組み合わせとかが出るかもしれないですね。」

神技先生

「火・水のように打ち消しあうのが一体化した属性のポケモンが出たらいいなあ…とってます。」

・先生は話を執筆する際、紙に書き留めますか？ あるいはPC・携帯に直接書き込みますか？

春野ツバサ先生

「まず紙に書き留めます。」

直接打ち込むと文章がグダグダになるのはわかっているのだから、それほしくないようにしています。

思いついた時は前書きや後書きですらメモ帳に書き留める位ですから(笑)」

神技先生

「ケータイのメールに書きためてます!!」

・キャラクターを考案する時にヒントを得たもの、あるいはアイデアをもらったことはありますか？

春野ツバサ先生

「一応ゲームのノベライズなのでゲームのキャラクター性を大事にしています。」

ピカチュウなんかは全然違います(笑)

どっちかってゆくとミライの方がゲームの主人公には近いですね

きつと（笑）」

神技先生

「うぐう…電子辞書とか、脳内に浮かんだのですかね。」

・一話を書くのに有する時間はどれくらいですか？

春野ツバサ先生

「ノリがいいときや書きたかった話の時は3〜4時間もかければ出
来上がります。」

逆に繋ぎ話的な話になると思いつきり時間がかかって、1週間か
かることもあります（笑）」

神技先生

「約7〜10時間ですかね？」

・ポケモン小説以外でポケモングッズに関するちよつと誇示できる
ようなことはありますか？ あるいはポケモンに関して語れるエピ
ソードなどはありますか？

春野ツバサ先生

「語れること…初めてポケモンと出会ってから今日まで飽きるこ
となくブームが続いたことでしょうか。」

元々私は飽き性な性格なので何かにハマってもすぐに熱が冷めて
しまうことの方が多いんです。

ですが、ポケモンだけはそういうのが一切なく今日まで至ってま
す（笑）」

神技先生

「子供時代にやってたピカチュウ元気でチュウでルビーを手に入れ
た時は歓喜しました。 後、ポケモンルビーで、なかなか捕まらな
いグラードン、レックウザを容赦無くリーフブレードで斬り殺し、
マスターボールはヤケになってジーランスに使ったという、謎な伝
説を持っています。」

・ポケモンそのものにはいつ、どういったように出会いましたか？
(例：幼稚園の時にテレビで、小学生の時にゲームボーイなどで)
春野ツバサ先生

「いつ、という詳しい時期は年齢がばれるので避けますが、初めて知ったのはアニメですね。」

サトシがヒトカゲをゲットしてありました。

アニメを視てそのおもしろさにはまり、その年のクリスマスには「緑」を手に入れ、プレーも始めました(笑)」

神技先生

「幼少時にアニメ、少したってゲーム(ピカ版)ですかね。この頃からピカチユウ大好きでしたww」

・同じポケモンファンフィクション作者として意識、あるいは刺激をもらった作者さんたちはいましたか？

春野ツバサ先生

「意識……というか、参考にさせていただいているのはやっぱり一番最初に読んだアニーさん、プラネットさん、バクフーンさんです。特にアニーさんはその文章力に惚れ込んで、自分もこんな文章書けるようになりたいと思い、投稿しようと思っきっかけになった方で本当に尊敬しています。」

刺激をいただいていると点でいえば、上記のお三方に加え、Linoさん、Karyuさん、tomonさん、みぞれ雪さん……と、挙げたらキリがないですね(笑)

というか、このサイトでポケモン小説を書かれている全ての方から刺激をいただいております。」

神技先生

「バクフーン様、ハーブ様、カリユさん…etcです!!!」

・執筆中に特に気をつけているものはありますか？

春野ツバサ先生

「文章回しには気を付けるようにしています。なるだけ似たような表現が重ならないように……と。」

後は、過度な表現はなるだけ控えるようにしています。

特に命にまつわるような表現は特に。『外伝』の方は世界背景上やむを得ずそういう表現を使用しておりますが、『探検隊』の方はなるだけ使用しないようにしております。」

神技先生

「読みやすさ、面白さです!!」

・実際にポケモンの世界に行けるとしたならば、手持ちにしたい最初のポケモンはなんですか？（御三家には限りません）

春野ツバサ先生

「うーん、やっぱりピカチュウですかね。」

ポケモンの物語の中で最強のコンビであるサトシ、ピカチュウに憧れてますんで（笑）」

神技先生

「もっつちろんピカチュウ!! 即お持ち帰りっつ!!」

・作品を投稿、連載していて嬉しかったことはなんですか？

春野ツバサ先生

「たくさんの方と知り合えたことと、あとはやっぱり感想をいただきましたことですね。」

投稿したばかりの頃はオリジナリティの欠片もないただのノベライズに感想なんて来ないんじゃないかと本気で思っていたので感想をいただいた時は本当に嬉しかったです。

今じゃメールで直接感想を送ってくださる方などもいらっしやるので本当に感謝しています。」

神技先生

「コメディばつかしなので、やっぱりし”面白い”という感想をもらえる事がすごく嬉しいですね!!」

・思い入れの深い話とキャラクターを教えてください。（例：一番書くのに苦労した、一番楽しかった、いろいろと試行錯誤をしたが結局断念したプランなど）

春野ツバサ先生

「思い入れがあるのは『外伝』の第5話のラストですね。

キモリがミライに対しほんの少しですが心を開いた瞬間ですから（笑）

周りから見ればほんの少しの変化なのですが、キモリにとってあれはとても大きな一歩なんですよ。

苦労させられるキャラクターはキモリです。

キモリはミライに対してまだ心を開いていないので、どのタイミングで、またどの程度心を開かせるか　その調整にいつも頭を悩まされます（笑）

もっとも、既に第2話の時点でキモリがミライのことを意識しているような表現があったりしますが（笑）

神技先生

「うぐぐう…ほぼ全話に入ってますからなあ… あえて言うなら、”じいさん大暴走”ですかねえ… キャラは、グラコロか百合かアンシ様ですね… 選ぶとしたら…：やっぱアンシ様ですかね」「我は!？」黙れ。 アンシ様はあのキャラを書くのが楽し「久しぶりに斬って殺ろうか!？」「だあら、黙れつての!! ポケパンさんが引いてるだろが!! 謝れ。「む、それはすまなかった」よし、次。」

・もし自分がポケモンの技を一つ習得できるのであれば、何を選びますか？ その理由も添えてください。

春野ツバサ先生

「最初、空を飛ぶにしようかなあ〜と思ったのですがやっぱりやめ

て実用性の高いサイコネシスを（笑）」

神技先生

「ん〜やっぱし、”亜空切断”でしょう！！ 使い方次第で気に入らないヤツをこの世から消せますし（黒）」

・もし自分がポケモンだとしたら、野生のままでもいいですか？

それともトレーナー或いはコーディネーターのポケモンになりたいですか？ その理由と、もしトレーナー（コーディネーター）のポケモンが良かったらどんな主人がいいですか？

春野ツバサ先生

「暫らくは野生でいると思います（笑）」

もし本当に信頼できる相手と出会えたらトレーナーでもコーディネーターでもついていくと思います。

どんなトレーナーがいいか……そりゃあやっぱりサトシのような方がいいですね。」

神技先生

「できれば野生がいいですね。でも、カリユさんが主人なら捕まってもいいですね。なんか、楽しそうww いっしょにモンハンとかやってたりしてwwww」

・モンスターボールを使ってポケモンを初めて捕まえる時、どういう風にゲットしますか？（バトルで弱らせる、毒や睡眠をかける、説得する、仲良くなつてからetc）

春野ツバサ先生

「とりあえず顔見知りになって、自分のことを理解してもらえたら最後はやっぱバトルで（笑）」

神技先生

「うっかり落としたボールが偶然ポケモンに当たって、お互いわからないけどそのボールだけが知っているみたいな感じがいいですね

wwww」

・好きなポケモンを五つ教えてください。

春野ツバサ先生

「全てのポケモンが好きなので一概には言えませんが、しいてあげるなら

ピカチュウ、ミュウ、ミュウツー、スイクン、ルカリオですかね。

……あ、あれ？ どれも映画で活躍したメンツ（汗）」

神技先生

「1にピカチュウ、2にルギア、3にバクフーン、4にホウオウ、5にレックウザですね！！」

・先生にとってポケモンとはなんでしょう？

春野ツバサ先生

「もはや切っても切れない人生の一部のようなものですね。飽きることないんじゃないかなあ、なんて思います（笑）」

神技先生

「愛すべき仲間…ですかね。」

・オーキド博士よろしくポケモン川柳を一ついただけますか？（これは任意で構いません）

春野ツバサ先生

「ダイパから出てきたポケモンの 外観変化について一言

ピカチュウ 何故に尻尾が 割れている」

神技先生

「カブトプス プスって何なの 無理やりか」

・読者の皆様には是非一言お願いいたします。

春野ツバサ先生

「いつもお読みいただきありがとうございます。」

ただ今『探検隊』は序盤の山場を迎え、『外伝』の方はコラボ話

の真っ最中です。

話の展開はスローリーで更新速度は亀並みの私ですが、飽きることなくどうか最後まで気長にお付き合いたいだければ幸いです。

これからも応援ヨロシクお願いします!!」

神技先生

「現在、停止中の”これポケ!?”ですが、近い内に再開します!

! これからも、なんとかよろしくお願いします!!」

ご購入ありがとうございます。

春野ツバサ先生、神技先生ありがとうございます。

これからも続けられる限り、活動を続けさせていただきます。

もし読者の方で、もう一度この先生のインタビューが読みたい、この先生のインタビューを読みたい、こんな質問があったら面白いな
どございましたらお知らせもらえたら幸いです。

それでは、また次回お会いいたしましょう。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n9106j/>

春野ツバサ先生と神技先生へのインタビュー記事

2010年10月22日00時46分発行